

令和7年度モニタリング評価実施による改善のための対応方針等(公表イメージ)

施設名：二色の浜公園

評価項目	評価基準	評価	評価委員の指摘・提言等
<p>Ⅲ 適正な管理業務の遂行を図ることができる能力及び財政基盤に関する項目</p> <p>(2) 安定的な運営が可能となる人的能力</p>	<p>労働災害等未然防止のための管理運営</p>	<p>B</p>	<p><b>【施設所管課の評価】</b>                      ○除草作業中の飛石による事故(9/10)                      令和7年9月、除草作業において飛石による近隣住宅の窓ガラス破損事故を発生させた。その後の被害者への補償交渉の経過や再発防止策の検討について、土木事務所への報告が遅れるなどした。</p> <p>○金庫作業中の指挟み事故(2/8)                      令和8年2月、事務所職員が金庫扉の開閉中に右手示指を一部欠損する事故が発生し、労災認定を受けたところ。当該事故の発生について、当事務所が3月に実施した履行確認時に認知するまで、指定管理者による報告が行われなかった。このことは公園管理要領に規定する報告義務に反するものであり、大変重く受け止めている。</p> <p><b>【評価委員の評価】</b>                      施設所管課評価は適正である。対策が不十分なことによる事故の発生と報告の遅れを考慮し、評価は適正と考える。</p>



改善のための対応方針	次年度以降の事業計画等への反映内容
<p><b>■飛び石事故について</b>  <b>【従来から実施していた対応方法】</b>                      ・石はねの危険が生じる場所には補助員を配置し、飛散防止ネットを持ち、飛石を防ぐ。                      ・人や車等が接近する場合は、必ず作業の手を止めて安全を確認してから再開する。                      ・カラーコーンを設置し、作業場所への人の侵入を防止する。</p> <p><b>【今後追加する再発防止策】</b>                      ・民家から20mの範囲では、肩掛け草刈り機、乗用草刈り機を問わず、民家と公園の間に飛散防止ネットを設置して飛び石対策を行う。</p> <p><b>■金庫指挟み事故について</b>  <b>【従来から実施していた対応方法】</b>                      ・金庫扉と本体の間に手を入れない等の具体的な安全確認手順や注意喚起などの対応方針が明確に定められておらず、安全対策が十分でなかったことが事故発生の一因と考えられる。</p> <p><b>【今後追加する再発防止策】</b>                      ・金庫の開閉作業時には、扉と本体の間に手を入れないよう作業手順を再確認するとともに、周囲の安全を確認したうえでゆっくり開閉することを徹底し、挟み込み事故防止に向けた安全意識の周知を行う。</p>	<p><b>■飛び石事故について</b>                      以下について追記する                      6. 植物管理と景観づくりの方法                      3) 除草及び芝刈りを行う時期についての考え方・苦情を受けた場合の対応                      (1) 業務内容【除草及び芝刈り 業務内容】</p> <p>・石はねの危険が生じる場所には補助員を配置し、飛散防止ネットを持ち、飛石を防ぐ。                      ・人や車等が接近する場合は、必ず作業の手を止めて安全を確認してから再開する。                      ・カラーコーンを設置し、作業場所への人の侵入を防止する。                      ・民家から20mの範囲では、肩掛け草刈り機、乗用草刈り機を問わず、民家と公園の間に飛散防止ネットを設置して飛び石対策を行う。</p> <p><b>■金庫指挟み事故について</b>                      以下について追記する                      I 提案の履行に関する項目                      5) 維持管理会社全体での事故に対する原因と善後策                      (1) 毎日・月次のミーティングによる意識啓発                      ・機器や設備の開閉・可動部分を伴う作業については、挟み込み等の危険が生じないよう作業手順を再確認するとともに、作業前の安全確認および慎重な操作を徹底し、職員への安全意識の周知徹底を図る。</p>